



テヅルモヅルを上から見たところ



今年の5月の記事でお伝えしたテヅルモヅルですが、残念ながら今年の7月に死亡しました。おそらく、夏の高水温に耐えられなかったようです。しかし、うまく飼育環境を整えれば、3ヶ月以上飼育できることがわかりました。

そして今年の11月中旬、2度目のチャンスが訪れました。再び、前回と同じ友ヶ島周辺海域でテヅルモヅルがとれ、漁師さんのご好意で水槽に展示することができました

(写真)。なんとか飼育記録をのばしたいとはりきっています。

さて、今回のテヅルモヅルも正式な種名は調べることができずにいますが、おそらく1回目と同じ種類だと思われます。ちなみに、1回目の死亡個体は、大阪市立自然史博物館に標本として寄贈しており、専門家によって詳しく調べていただいているところです。



水槽に展示したテヅルモヅル

